

菊川水系河川整備基本方針（案）の骨子（案）

1. 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

(1) 流域及び河川の概要

(概要)

- ・ 水源から河口までの概要
- ・ 幹川流路延長、流域面積、流域の土地利用
- ・ 流域の地質、年間降水量
- ・ 中上流域は、JR東海道本線、東名高速道路などの重要交通網が集中
- ・ 中上流部の丘陵地において、この地方の特産品である茶の生産が盛ん

(流域の自然環境)

- ・ 流域は、植林や茶園としての利用が進んでいることから、自然植生は小笠山等の丘陵地の一部に照葉樹林が分布
- ・ 河口部の静穏水域や中流域の小笠山等には多くの野鳥が生息し、鳥獣保護区に指定
- ・ 河口部をはじめ丹野池、横地城址等が御前崎遠州灘県立自然公園に指定

(災害の歴史と治水事業の沿革)

- ・ 低平地が広がる内水被害を受けやすい地形
- ・ 度重なる水害を契機に、昭和8年より直轄河川改修事業に着手
- ・ 昭和13年洪水を考慮し、昭和27年に流量改訂
- ・ 昭和43年7月、昭和47年7月等の度重なる洪水にかんがみ昭和49年に現行の工事实施基本計画を策定
- ・ 昭和54年に東海地震に係る地震防災対策強化地域に指定され、河口部の高潮堤防の補強を実施
- ・ 昭和57年9月、平成10年9月洪水により甚大な被害が発生

(河川水の利用)

- ・ 古くから流況に恵まれず、多くの溜池が造成

- ・農業用水については大井川用水に依存

(水質)

- ・菊川下流部は環境基準値を満足しているが、菊川上流部および支川牛淵川では環境基準値を満足していない(牛淵川は平成16年度調査では全国ワースト5位)

(河川の利用)

- ・河口部には平成4年に整備された大東マリーナを拠点に、やヨット等による河川利用

(2) 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

(治水、利水、環境の総合的な方針)

- ・治水、利水、環境に関わる施策を総合的に展開
- ・水源から河口まで水系一貫した基本方針の基に、段階的な整備を進めるにあたり目標を明確にして実施
- ・健全な水循環系の構築を図るため流域一体となった取り組みを推進
- ・河川の有する多面的機能を十分発揮できるよう適切な維持管理

ア．災害発生の防止又は軽減

(流域全体の河川整備の方針)

- ・河川環境の保全に配慮しながら堤防の新築、拡幅及び河道掘削、護岸整備等を実施し、計画規模の洪水を安全に流下させるとともに河床の低下対策を実施
- ・内水対策の実施
- ・東海地震に係る地震防災対策強化地域、東南海・南海地震防災対策推進地域に指定されていることから、地震防災を図るため堤防の地震対策を実施

(河川管理施設の管理、ソフト対策等)

- ・河川管理施設の機能の確保及び施設管理の高度化、効率化

- ・ 情報伝達体制の充実等の総合的な被害軽減対策
- ・ 本支川及び上下流バランスを考慮し水系一貫した河川整備

イ．河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

（河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持）

- ・ 動植物の生息または生育環境に配慮しつつ、引き続き合理的な水利用を促進
- ・ 渇水等の被害を最小限に抑えるため、情報提供の実施、関係機関や地域住民等と連携して推進

ウ．河川環境の整備と保全

（河川環境の整備と保全の全体的な方針）

- ・ 多様な動植物が生息・育成する豊かな自然環境を次代に引き継ぐよう努める
- ・ 河川環境の整備と保全が適切に行われるよう、空間管理等の目標を定め住民や関係機関と連携しながら川づくりを推進

（動植物の生息地・生育地の保全）

- ・ 河口部の静穏水域や上流部の鳥獣保護区の保全

（人と河川の豊かなふれあいの確保）

- ・ 自然環境との調和を図りつつ、適正な河川の利用

（水質）

- ・ 上流部、支川牛淵川の水質改善を図るため、関係機関との連携・調整、住民等との連携を図りながら改善に努める

（河川敷地の占用及び工作物の設置、管理）

- ・ 治水、利水、河川環境との調和を図る

（モニタリング）

- ・ 環境に関する情報収集やモニタリングを適切に行い、河川整備や維持管理に反映

2. 河川の整備の基本となるべき事項

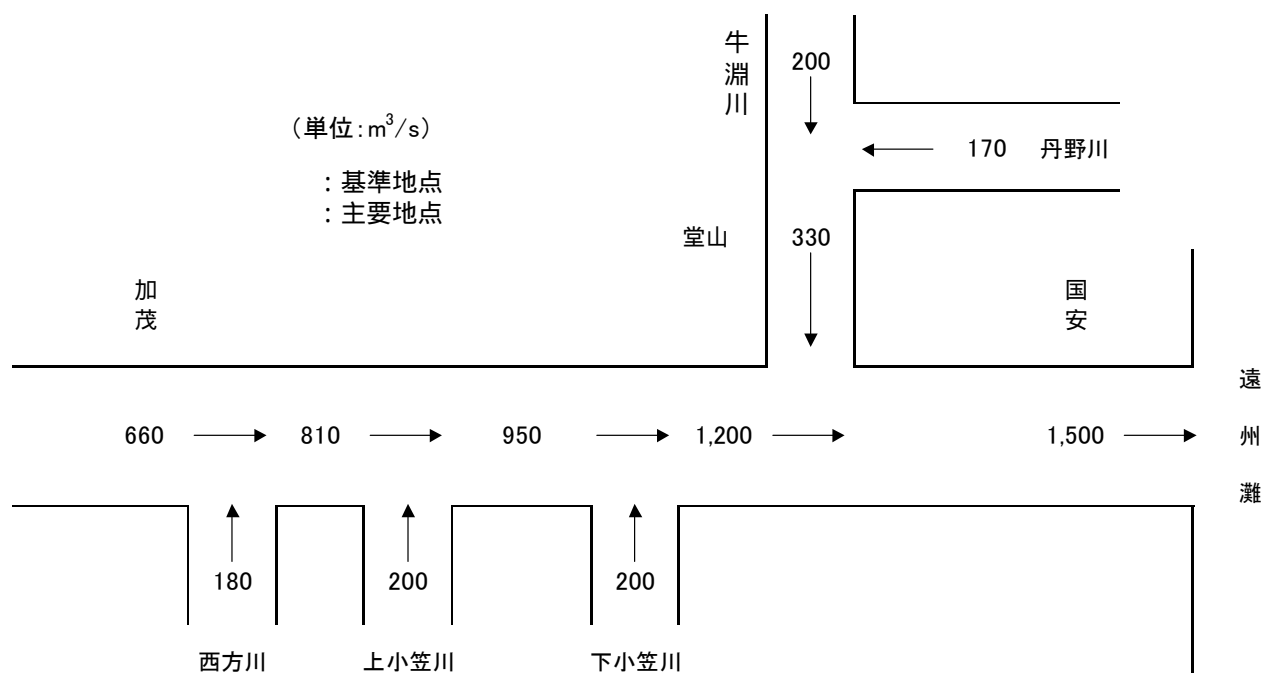
(1) 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項

基本高水のピーク流量等一覧表 (単位: m³/s)

河川名	基準地点	基本高水のピーク流量	洪水調節施設による調節流量	河道への配分流量
菊川	国安	1,500	0	1,500

(2) 主要な地点における計画高水流量に関する事項

菊川計画高水流量図



(3) 主要な地点における計画高水位及び計画横断形にかかる川幅に関する事項

主要な地点における計画高水位及び川幅一覧表

河川名	地点名	河口又は合流点からの距離(km)	計画高水位 T.P.(m)	川幅 (m)
菊 川	国安	2.0	3.72	186
	加茂	11.8	17.49	66
牛淵川	堂山	菊川合流点から 3.6	6.31	43

(注) T.P. 東京湾中等潮位

(4) 主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量に関する事項

- ・加茂地点：動植物の保護、水質、漁業等を考慮して概ね $0.5\text{m}^3/\text{s}$